

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 八頭町
 本事業の担当部局名 企画課地域戦略室

事業メニュー	結婚新生活支援事業			
区分	結婚新生活支援			
関連事業メニュー	4.2 新規に婚姻した世帯に対する住宅取得費用又は住宅賃借費用に係る支援及び引越費用等に係る支援(都道府県主導型市町村連携コース)			
個別事業名	八頭町結婚新生活支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日 ~	令和7年3月31日	事業開始年度 令和 3 年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1	3,000,000		円	
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通 本町では、「第2次八頭町総合計画」(平成27年度～令和6年度)において、人口減少対策を重点課題に位置付けるとともに、「八頭町人口減少対策ビジョン」(平成27年度～令和元年度)を策定、令和2年度に改定し、人口減少対策に取り組んできた。著しい少子高齢化や人口減少を抑えつつ、一方で、人口減少自体は避けられない課題であることから、「人口減少の緩和」及び「人口減少により生じる課題への対応」という2つの視点から、合計特殊出生率の向上や社会移動による人口減少の通減・解消を目指している。</p> <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 第2期八頭町総合戦略における重点目標のひとつとして「八頭町で伸び伸び子育て」を掲げ、「結婚・出産の希望がかなえられる環境のもと、誰もが安心して子どもを産みたいと思える意識が高まり、それを応援する地域社会」を目指している。</p> <p><本個別事業の位置付け> 町総合戦略におけるKPI達成のための具体的な取り組みのひとつとして、第2子以降の保育料無償化等の支援事業等の子育て世帯への支援に取り組んでいる。本事業は結婚生活に係る費用の直接的な補助を行うことにより、若者世代等を中心に、結婚に伴う経済的負担を軽減させることで、婚姻数の増加を目指し、合計特殊出生率の上昇を図る。</p>			
個別事業の内容	1. 概要			
	【補助対象要件】			
	・所得要件	<input checked="" type="checkbox"/> 夫婦の合計所得が500万円未満	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	・年齢要件	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	【補助上限額】			
	29歳以下の場合	各費用に係る合計が60万円	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	39歳以下の場合	各費用に係る合計が30万円	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	【対象費目】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 家賃	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅購入費用	<input checked="" type="checkbox"/> リフォーム費用	<input checked="" type="checkbox"/> 引越費用
	【継続補助】 継続補助規定の有無 			
※(注)3 【その他独自要件】				

2. 申請見込

①新規世帯見込	6	世帯	②継続世帯見込		世帯
上記のうち	ともに29歳以下	4	世帯		
	その他	2	世帯		

【世帯数積算根拠】

令和5年度実績より算出

29歳以下：4世帯

39歳以下：1世帯

(参考)

【令和5年度申請状況】

実施中

申請世帯数見込	5	世帯
～12月(実績)		世帯
1月～3月(見込)	5	世帯

【金額積算根拠】

<上限額>

(29歳以下)	4	世帯	×	600,000	円	=	2,400,000	円
(その他)	2	世帯	×	300,000	円	=	600,000	円
				(継続補助)				円

<積算>

左記上限額のとおり

3. 広報の実施予定

町ホームページ及び町ホームページにより周知予定。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	出生数		人	90	94
子育て支援タクシー利用回数		回	20	16	
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.34	
	婚姻件数		件	51	
	婚姻率			3.3	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
	(アウトプット)				
	1	支給世帯実績／支給見込世帯数の割合	%	60	62.5
	(アウトカム)				
1	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	40	40	
2	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に支援されていると感じた世帯の割合」	%	40	80	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	【連携コース採択要件関係】 地域結婚支援重点推進事業(重点メニュー)に係る県事業「AIを始めとするマッチングシステムの高度化(県事業名：えんトリーマッチングシステムの高度化)」について、以下のとおり連携を図る。 ・マッチングシステムの習熟のための研修の共催・運営補助				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8					

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点に、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。